

令和3年12月3日

新型コロナウイルス検査の結果について

昨日（12月2日）は、県内で衛生環境研究所、診療・検査医療機関で合わせて220件程度の検査を実施し、新たな陽性者は確認されませんでした。

※本日朝の速報では陽性者1名と発表していましたが、医師から発生届の取り下げがありましたので、「陽性者なし」に訂正します。

※診療・検査医療機関では、1日当たり約220件（直近1週間の平均検査件数）の検査を実施しています。（毎週金曜日に計上し、公表）

なお、陽性検体のゲノム解析を41件実施し、すべてデルタ株でした。

県民の皆様においては、引き続き、「4つのポイント」の徹底をお願いします。

- 「感染回避行動の継続徹底」
- 「体調異変時は休んで受診」
- 「県外との往来は十分注意」
- 「会食はルールを守って実施」

県では、感染症法第16条第1項の規定に基づき、感染症の予防のための情報の公表を行いますが、同第2項により個人情報の保護に留意する必要があります。
報道機関各位におかれては、報道に当たり、プライバシー保護に御配慮ください。

愛媛県内の状況

【 R3.12.3 9時現在 】

<封じ込め・終了事例>

事例	公表日	検査数	陰性	陽性	関係者調査	PCR検査	健康観察
対処事例①:1737事例 ※欠番:30事例		39,616	34,208	5,408	●	●	●

<囲い込み事例>

対処事例②:4事例		189	185	4	●	●	○
-----------	--	-----	-----	---	---	---	---

<調査中事例>

対処事例③:0事例					○	○	○
上記以外	PCR検査	(3) (689) 68,314	(3) (689) 68,314		—	—	—
	抗原検査	(1,098) 61,085	(1,098) 61,085				
合計		(3) (1,787) 169,204	(3) (1,787) 163,792	(0) 5,412	衛生環境研究所等の検査 かかりつけ医等の検査		0件 0件
診療・検査医療機関での検査数 (金曜日に1週間の合計を計上)		前週 1日平均	220件				

【凡例】 ● : 接触者特定済、検査完了、健康観察終了
○ : 接触者特定中、検査中、健康観察中

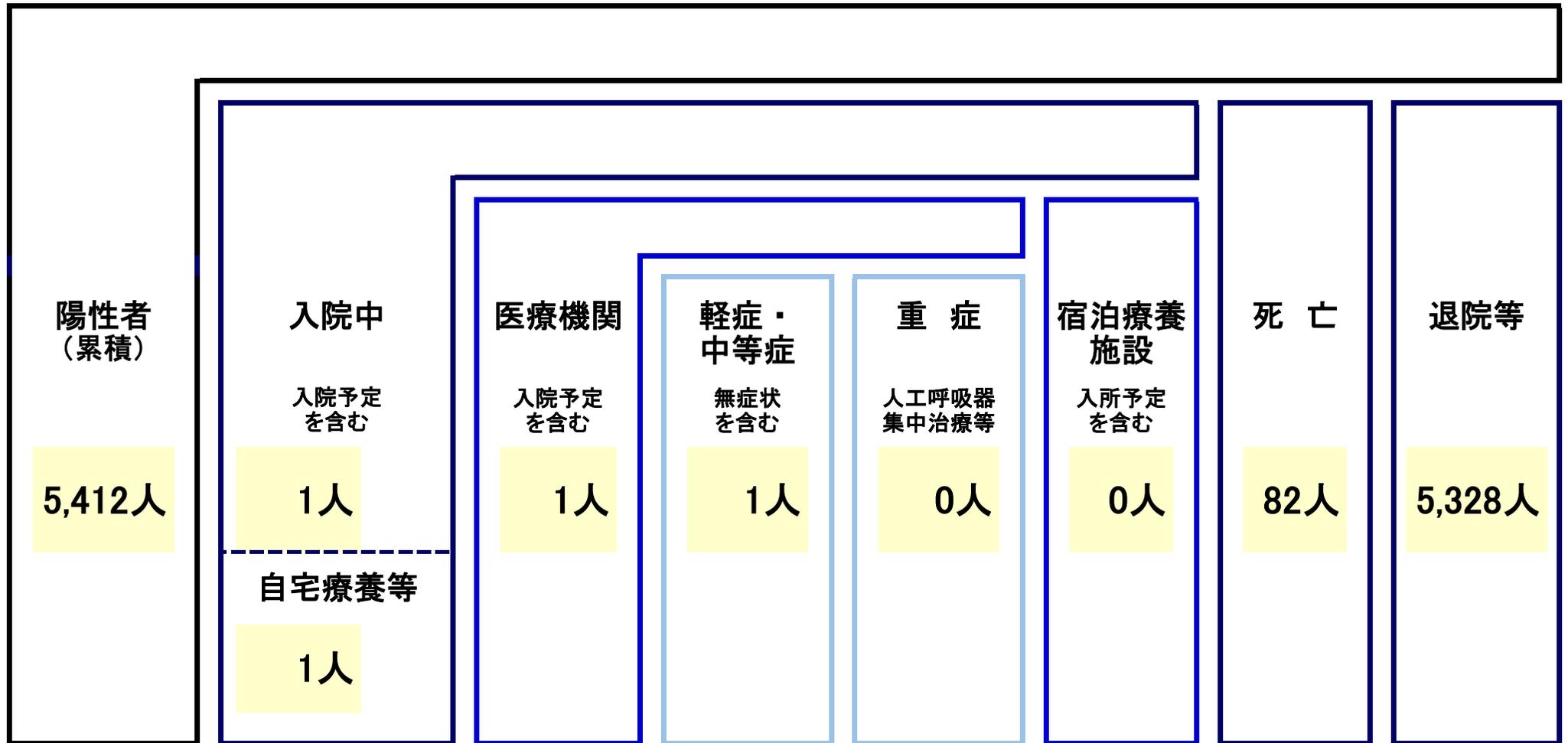
※上記の（ ）内の検査数は、対応中の事例に関して昨日実施した検査並びに衛生環境研究所及び地域外来・検査センターで実施した検査の件数です。

◆ゲノム解析結果(R3.3.1以降実施分)

アルファ株 (N501Y変異)	デルタ株 (L452R変異)	その他	合計
144	(41) 304	0	(41) 448

県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生状況について

令和3年12月3日 9時現在

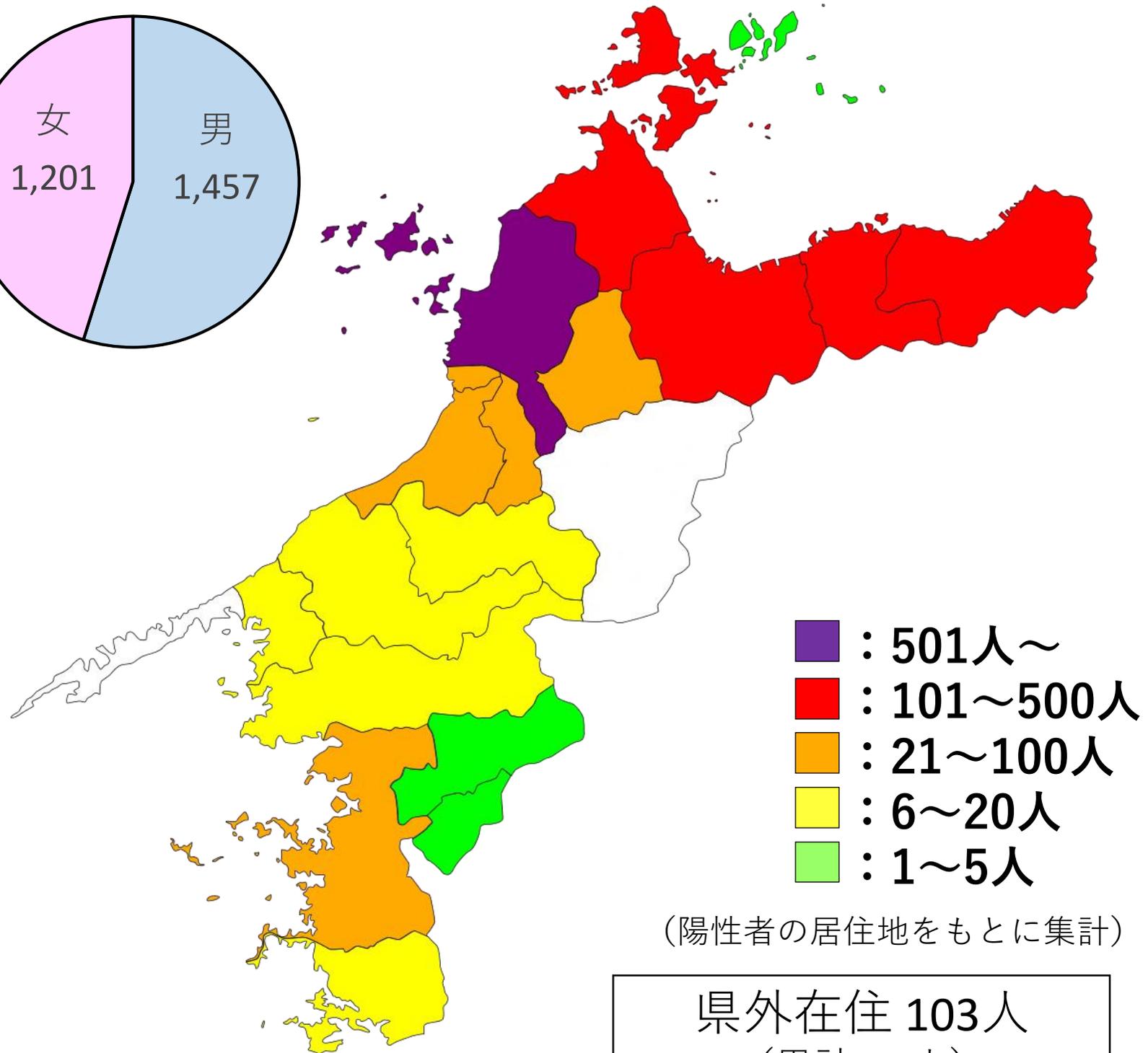
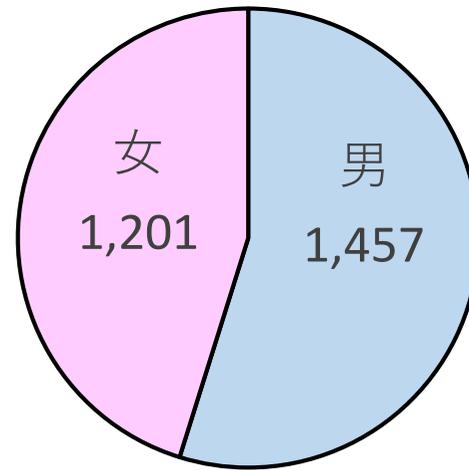


7月以降の市町別陽性者の状況（12月3日時点）

市町名	陽性者数	（累計）
松山市	1,384人	（2,971人）
新居浜市	355人	（598人）
西条市	203人	（291人）
今治市	176人	（403人）
四国中央市	150人	（253人）
宇和島市	66人	（167人）
砥部町	44人	（79人）
松前町	40人	（89人）
伊予市	36人	（67人）
東温市	34人	（117人）
大洲市	17人	（74人）
八幡浜市	13人	（31人）
西予市	12人	（32人）
内子町	9人	（18人）
愛南町	7人	（17人）
鬼北町	4人	（9人）
松野町	3人	（7人）
上島町	2人	（9人）
伊方町	0人	（3人）
久万高原町	0人	（6人）

愛媛県：2,658人（累計：5,412人）

男女の内訳（人）



（陽性者の居住地をもとに集計）

県外在住 103人
（累計171人）

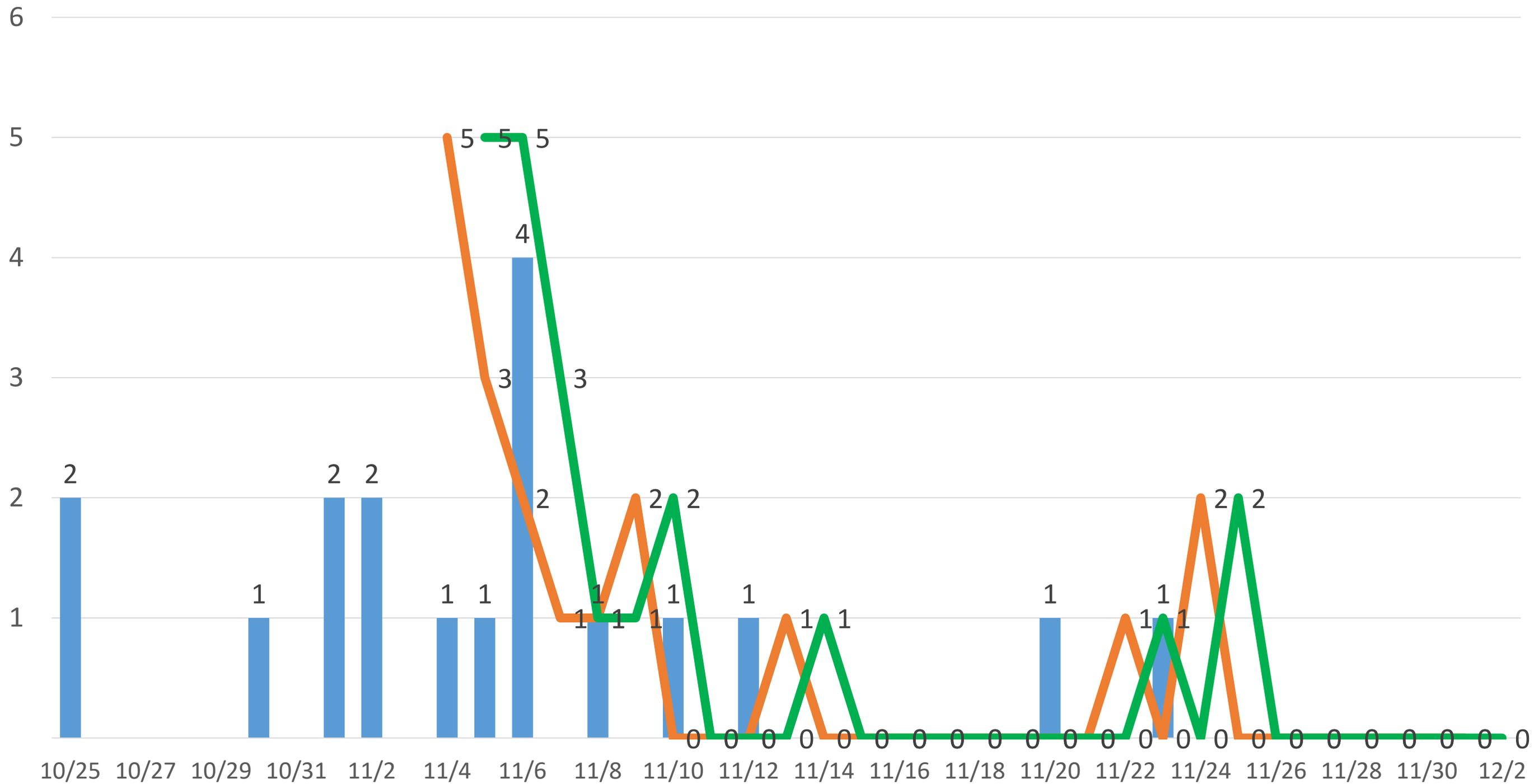
発症日・検査日・公表日別陽性者数（11月26日～12月2日公表分）

1

直近 1 週間陽性確認なし。



発症日・検査日・公表日別陽性者数（11月5日～12月2日公表分）



■ 発症日別（有症状者のみ）

— 検査日別（有症状者のみ）

— 公表日別（陽性者全員）

オミクロン株の特徴（従来株との比較）

	最初の検出	感染性	重篤度	再感染やワクチン効果
オミクロン株 (N501Y) (E484A)	2021年11月 南アフリカ等	<u>高い可能性</u>	十分な疫学情報 が無く不明	<u>再感染リスク 増加の可能性</u> <u>ワクチンの効果 を弱める可能性</u>
デルタ株 (L452R)	2020年10月 インド	<u>高い可能性</u> ※アルファ株の1.5倍 高い可能性	<u>入院リスクが 高い可能性</u>	<u>ワクチンの効果 を弱める可能性</u>
アルファ株 (N501Y)	2020年9月 イギリス	<u>高い可能性</u> ※従来株の1.32倍 と推定	<u>入院・死亡リス クが高い可能性</u> ※従来株の1.4倍と推定	効果に影響が ある証拠なし

※厚生労働省及び国立感染症研究所発表資料等をもとに作成

オミクロン株の発生に備えた本県の対応方針

① 検査方針

- 全ての陽性者について、**L452R変異株（デルタ株疑い）PCR検査を実施**
 - ※L452R変異株陽性であれば、オミクロン株ではないと推定可能
 - ※新たな変異株PCR検査体制が整備されるまでの暫定的な対応
- 全ての事例について、可能な限り**ゲノム解析を実施**

② 調査方針

- **接触者の探索を幅広に行い、検査を実施**。陽性者がオミクロン株と確定された場合は、**幅広の検査対象者についても、濃厚接触者として認定**
- オミクロン株陽性者の濃厚接触者には、**宿泊施設での滞在を求める**
(2日に1回を目安に検査を実施)

③ 療養方針

- 当面の間、全ての陽性者は**一旦入院し、変異株検査を実施**
- オミクロン株と確定された陽性者の退院基準は次のとおり
 - ・ 有症状者：症状軽快後24時間経過した後に、2回連続で陰性を確認
 - ・ 無症状者：陽性確認から6日間経過した後に、2回連続で陰性を確認

オミクロン株に備えた注意事項

- 学校や職場、店舗など、人が集まる場所は、定期的な換気を徹底
寒さ対策としてウォームビズの推奨
- 海外からの来県者と接触する事業所は、関係者の体調管理に注意

4つのポイント

① 感染回避行動の継続徹底

(感染防止の基本)

② 体調異変時は休んで受診

(職場・学校への感染拡大阻止)

③ 県外との往来は十分注意

(訪問先の感染動向を事前に確認)

④ 会食はルールを守って実施

(飲食店・会食クラスターの阻止)